

2022年度 日本工学院専門学校														
ミュージックアーティスト科/ヴォーカリストコース														
作詞・作曲2														
対象	1 年次	開講期	後期	区分		必修	有	種別	職種	実習	時間数	30	単位	2
担当教員	大山 佳佑			実務経験	有	職種	作詞作曲家							
担当教員紹介														
<p>大山佳佑 1990/09/13 シンガーソングライター、ピアニスト。昭和音楽大学声楽学科ジャズ・ポピュラーコース卒業。Nissy (AAA西島隆弘)、Kinki Kids、玉置浩二、SKY-HI (AAA日高光啓)、三浦大知、クリスハート、香取慎吾 (SMAP)、Ms. OOJA、TOSHI (XJapan)、TEE、Hey Say Jump!、ゾン・シギオン、久保田利伸、福山雅治、桑田佳祐、コブクロ、向井太一等(順不同)のライブツアーやレコーディング、収録に参加。現在は自身の活動を主に、コーラス業、アレンジ業、音楽監督、メディアや映画音楽の収録、イベント出演など、幅広く活動中。</p>														
授業概要														
<p>鼻歌でメロディーを作り、コードを付け、歌詞を付けて、1 曲歌もの楽曲を完成させることを目的とする。楽器が出来る学生は楽器を用いながら、またそうでない学生はクリエイターの学生とペアを組むなどしてメロディーとコードを作成する。イントロ、A、B、サビという歌ものいわゆるひな形を理解し、この構成に則って制作を進めていく。必ず最後に発表をさせて、学生同士で意見交換などしていく。</p>														
到達目標														
<p>自分なりに表現したい世界観やテーマを決め、メロディーと歌詞がフルコーラスサイズで書けるようになる。修了ライブでオリジナル楽曲が披露できるようになる。</p>														
授業方法														
<p>この授業では音楽理論の授業や作詞の授業、前期で習得してきたことなどを活かしながら、楽曲の旋律がかかるようになること、また適切なコード付けが出来るようになることを目的とする。</p>														
成績評価方法														
<p>試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価          成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価          平常点 10% 積極的な姿勢</p>														
履修上の注意														
<p>授業中の私語や受動態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。</p>														
教科書教材														
<p>毎回授業にて資料配布を行う          参考書・参考資料等は授業中に指示をする</p>														
回数	授業計画													
第1回	イントロ、A、B、C、Dメロについて学ぶ													
第2回	イントロの作成方法や例を提示してイントロの作成手順について学ぶ													
第3回	イントロを実際に作ってみる													
第4回	Aメロの作り方や手法について学ぶ													
第5回	Aメロを実際に作ってみる													

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科/ヴォーカリストコース	
作詞・作曲 2	
第6回	Bメロの作り方や手法について学ぶ
第7回	Bメロを実際に作ってみる
第8回	サビの作り方や手法について学ぶ
第9回	サビを実際に作ってみる
第10回	Cメロの作り方や手法について学ぶ
第11回	Cメロを実際に作ってみる
第12回	2～1 1回で制作した曲をフルコーラスで完成させる。質問やアドバイスは随時受け付ける
第13回	2～1 1回で制作した曲をフルコーラスで完成させる。完成した曲のチェックを行う
第14回	最終確認を行う
第15回	国内特殊事情としてのバブル時代からバブル後の音楽シーンへの流れの分析と把握。そして現在へと繋がる流れを確認する。